

2020年10月2日 ブライアン カースカデン氏ウェビナー
質疑応答

ウェビナーにご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

ウェビナー中にご回答できなかったご質問に対し、以下の通りブライアン氏より回答を得ました。

沢山のご質問ありがとうございました

・最近のWDE、RAWFのクラスチャンピオンでお気に入りの牛は？

良い質問だと思います。クラスチャンピオンになった牛で私のお気に入りを以下にリストアップしますが、私のお気に入りの牛の中にはクラスチャンピオンにならなかつたものもいます。私のお気に入りの牛でここ数年にクラスチャンピオンになったものは以下の通りです。

スイートビュー デンプシー ハリーアップ

(2019WDE：サマーJr. 2歳1席、2019RAWF：Jr. 2歳1席)

ジェイコブズ ドアマン ビクトア

(2019WDE：リザーブ インターミディエイト チャンピオン/Sr. 3歳1席、2019RAWF：インターミディエイト チャンピオン/Sr. 3歳1席)

バッツ バトラー ゴールド バーバラ

(2019WDE：グランドチャンピオン／生涯乳量 150,000 ポンドクラス 1席)

アープエーカーズ スナップル シャキーラ

(2018WDE：インターミディエイト チャンピオン/Jr. 3歳1席、2017WDE：Jr. 2歳1席)

ジェイコブズ ウィンドブルック アイモ

(2018WDE：4歳1席、2018RAWF：グランドチャンピオン・4歳1席、2017WDE：インターミディエイト チャンピオン/Sr. 3歳1席、2017RAWF：リザーブ インターミディエイト チャンピオン/Sr. 3歳1席、)

ロジアーズ ブレクシー ゴールドワイン

(2017WDE：成牛1席、2017RAWF：成牛1席、)

・日本では未経産牛で活躍していた牛が、経産牛ではありませんといふ話を聞きます。未経産牛から経産牛にかけて勝ち続ける牛の特徴はありますか？

今日ショウで勝つ未経産牛は各部位が正確で、乳用性と強さがうまく合わさった牛だと私は考えます。肢蹄や尻の構造は以前よりも正確である必要があります。もし勝利する未経産牛がこうした正確な部位を持つことができれば、彼女たちが優れた経産牛になる可能性は上がるでしょう。もちろんそれは彼女たちが良い乳器を持って初めて可能になります。ショウに熱心な人々によって今日使われる高タイプの種雄牛は通常、良い乳器を伝達する種雄牛でもあります。そのためショウで勝つ未経産牛が優れた経産牛になるケースを私たちはより多く見るようになっています。

・エキスポ、ロイヤルも開催されず、共進会がほとんど無い今年は、オールアメリカン、オールカナディアンの選出はどうするのでしょうか？

コロナ禍にありながらも米国やカナダではいくつかのショウが開催されています。審査団は毎年そうするように出品牛とその序列を分析し、各クラス上位 6 頭を選出します。ほとんどの優れたホルスタイン牛は米国かカナダのどこかでショウに出ています。

今年唯一の違いは、国境を越えてショウに出た牛がほとんどないことです。そのためカナダで所有される牛と米国で所有される牛の競争は最小限となります。

・エキスポやロイヤルでリードした牛で印象に残っている牛はいますか？また、その理由は？

ヨーロピアン チャンピオンシップでチェリオス ヒーラインをリードしたことは確かに大きく印象に残っています。出品牛と参加国との間に存在する競争には激しいものがあります。会場の雰囲気は刺激的で、とてもワクワクする経験を生むように作られています。

また、RAWF でジュニアチャンピオンをリードしたことは、若いころからそうすることを夢見ていたカナダ人にとって非常に感動的な経験でした。私は WDE のクラスチャンピオンやリザーブ チャンピオン (R&W 及びジャージー) をリードする機会も得ました。大観衆と素晴らしい雰囲気を伴う WDE におけるそういう経験には常に感動させられます。

・エキspoやロイヤルで多くの牛をリードしていますが、その場で初めて触れる牛をリードすることが多いのでは？初めて触れる牛のリードについて何かコツはありますか？

特にありません。落ち着いてその牛が好むことや好まないことを素早く知ることが重要だと私は考えます。もしあなたがリラックスしていれば牛もそうするでしょう。時にはショウリングに立ちたがらない牛もありますが、それに関して私たちができることは何もありません。

・毛刈りの技術や流行については、ここ 15 年くらいでどのように変わったと思いますか？

遺伝子が変化し、それはバランスがより取れ、素晴らしい乳器システムを持つ牛を導きました。今や平均的な乳器を持つ牛が北米のショウで勝つのを見ることは珍しくなりました。15 年前に比べて牛は生産性がより高く、歩様がより良くなりました。

毛刈りに関しては、以前よりも多く毛を刈りこむ傾向にあります。そうすることにより、牛はよりディリーで、絹の様な皮膚を持ち、生産性がより高く見えます。ショウカウが 15 年前に比べて生産性を高めるにつれ乳房にはより幅が出ており、乳房の質感と歩様に影響を与えない程度で出来る限り乳房を張らせる傾向があります。今日の乳房はより自然な質感を持っており、その結果フィッターたちは牛がショウリングに立つ前に乳房にオイルを塗ります。そうすることで乳静脈はより際立ち、乳房は最高の質感を見せます。トップラインの毛は 15 年前よりも短くなりました。これは主要なショウにおいて毛の長さに対し基準が設けられたためであり、優れた効果を生んでいます。また、最近では未経産牛の腹部の毛を多く残す傾向があり、彼女たちがそれを必要とするか否かに関わらずそれは行われています。体の深さを欠く牛においては良い対策かもしれませんのが、元々体の深い未経産牛には必要ないことでしょう。

その他、出品牛は餌をしっかり食べてショウリングに上がる必要があります。そうすることで肋が最大に張って体に深さが出、それはその牛が持つバランスと乳用強健性を高めます。

・2021 年は、エキスポに続きロイヤルでもクラス分けが変わり、当歳級と 2 歳級にそれぞれ 1 クラス追加されます。やはり、特に初産牛は泌乳ステージによって乳房の状態、及びコンディションが違うということを反映しているのでしょうか？

私は未経産牛のクラスを追加することに反対である一方、経産牛のクラスを追加することは良いことだと考えます。経産牛のクラスが多いほど、ショウの観客や自宅で観ているコマーシャルの酪農家に大きな貢献をもたらします。時に 2 歳牛の中でも月齢の若い牛はより成長の進んだ 2 歳牛に対して不利な立場に置かれます。経産牛のクラス分けが細かくなればなるほどより多くの勝利牛を生み、より多くの出品者やスポンサーが嬉しい気持ちでショウを終えることができます。